



埼玉県立大学保健医療福祉 科学学会(SPU 学会) News Letter

2026 年 10 月
第 13 号

埼玉県立大学保健医療福祉科学学会(SPU 学会), 〒3438540 埼玉県越谷市三野宮 820
URL:<https://www.spu.ac.jp/about/society/> E-mail:spu-jhcs@spu.ac.jp

第 13 号 目次

- 1 SPU 学会の新たな歩みにむけて
- 2 埼玉県立大学保健医療福祉科学学会 第 17 回学術集会のご案内
- 3 保健医療福祉科学』投稿システム変更のお知らせ
- 4 同窓会員入会の勧め
- 5 保健医療福祉学会入会のご案内
- 6 『保健医療福祉科学 Journal of Human Care Sciences』投稿論文募集

SPU 学会の新たな歩みに向けて

埼玉県保健医療福祉科学学会理事長 林 裕栄



会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。昨年の総会では、創立 10 周年という節目を迎えた本学会について、その在り方を根本から見直す必要があることとお話いたしました。本学では大学院改革が進み、大学院生も着実に増えております。そのような中で私は、本学会が大学院生をはじめとする会員の皆様にとって、研究成果の発表や論文投稿の貴重な場として存続していくことを強く願っております。しかしながら、学会の将来像について、当時はまだ結論には至っておらず、今後の方向性を模索している段階であることをお伝えしました。それから一年が経過し、本学会は理事の皆様をはじめ、多くの会員の皆様のご理解とご協力をいただきながら、「もう一度学会を立て直し、発展させていこう」という共通の思いのもとで歩みを進めてまいりました。その結果、本日こうして新たな一歩を踏み出した学会の姿をお示しできることを、大変うれしく思っております。

本年 7 月の総会では、新たな理事体制の構築や業務内容の見直しなど、今後の学会運営に関わる重要な事項についてご審議いただき、承認をいただきました。さらに、他大学に所属する先生方に理事としてご参画いただくとともに、同窓会役員の理事会への積極的な参加を進めました。また、事務作業を支援する非常勤職員の雇用を開始し、学会本部の負担軽減を図るなど、持続可能で開かれた学会運営に向けた体制整備を進めています。今後は、本学教員のみならず他大学の教員や大学院生にも本学会の意義を理解していただき、会員数の拡大につなげていきたいと考えています。また、学会誌への投稿数を安定的に確保し、質の高い論文を掲載することで学術的な価値を高めていくことも重要な目標です。さらに、本学が掲げる保健・医療・福祉分野における多職種連携の特色を広く発信する場として、本学会がその役割を果たしていくことを期待しています。学術集会についても、将来的には地域の皆様にもご参加いただけるようにしたいと考えています。高校生によるポスターセッションの開催なども視野に入れながら、多世代が学び合い交流できる機会を創出し、保健・医療・福祉分野を担う人材育成への関心を高めていきたいと思っております。どうぞ会員の皆様におかれましては、お知り合いの方々へ本学会への入会をお勧めいただくとともに、学会誌への積極的なご投稿、学術集会での研究発表にご協力いただければ幸いです。皆様とともに、新しく生まれ変わった SPU 学会をさらに発展させてまいりたいと存じます。今後ともご支援、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

埼玉県立大学保健医療福祉科学学会 第 17 回学術集会のご案内

埼玉県立大学保健医療福祉科学学会第 17 回学術集会を、2026 年 11 月 14 日(土)10 時から 16 時まで、「重層的支援体制整備事業の現状と課題」をテーマとして開催します。

重層的支援体制整備事業は、地域住民が抱える複雑化・複合化した支援ニーズに対応し、市町村において包括的な支援体制を構築することを目的として、2021 年 4 月に創設された市町村の任意事業です。

子ども、障害、高齢、生活困窮など、これまで分野ごとに整備されてきた支援体制だけでは対応が難しい、ひきこもり、経済的困窮、ヤングケアラー、孤独・孤立などの課題に対し、分野を超えて支援することを目指しています。

本事業では、「相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施し、本人や世帯の属性や課題にかかわらず、地域全体で支える包括的な支援体制の構築を進めます。個別の相談支援にとどまらず、社会とのつながりをつくる参加支援や、住民同士が支え合う地域づくりを進める点に大きな特徴があります。埼玉県においても本事業が推進されており、市町村、社会福祉協議会、福祉・医療・教育・子育て支援等の関係機関が連携し、それぞれの地域の実情に応じた取り組みが進められています。

本学術集会では、埼玉県における取り組みにも触れながら、重層的支援体制整備事業の意義と現状、実践上の課題について理解を深めます。社会福祉子ども学科教員による教育講演に加え、地域で活躍する実践者や本学卒業生を招いたワークショップを開催します。行政、社会福祉協議会、児童領域の立場から、それぞれの現場における取り組みや課題について報告いただき、参加者相互の学びを深めます。

本学術集会が、地域の皆様や保護者の皆様にとって本学への理解を深める機会となるとともに、卒業生にとってはこれまでの学びや実践を共有する場、在学生にとっては埼玉県における保健医療福祉の実践に触れ、今後の学修への意欲を高める機会となることを願っています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

Saitama Prefectural University
埼玉県立大学

**保健医療福祉科学学会
第17回学術集会**

重層的支援体制整備事業の現状と課題

【日時】2026年11月14日(土) 対面開催
【会場】埼玉県立大学 (北346大講義室他)

開催時間
10:00
16:00
(受付開始は9:30)

Program

- 社会福祉子ども学科教員による教育講演 (10:00~12:15)
 - ・重層的支援の社会的意義 保科聖子
 - ・重層的支援の歴史 大岡華子
 - ・重層的支援の実践 小川孔美
 - ・重層的支援の展望 高崎恭子
- ワークショップI (13:30~14:30)
重層的支援体制整備事業の現状報告と課題
シンポジスト: 各領域で活躍する支援者と卒業生
・行政における重層的支援体制整備事業
・社会福祉協議会における重層的支援体制整備事業
・児童領域における重層的支援体制整備事業
- ワークショップII (14:45~15:30)
「つながり」のための課題を共有・今後の展望
指定討論 埼玉県福祉部地域包括ケア課 課長 山崎高延氏

「制度の壁を越え、支援の必要な人を地域の皆で支える適切な支援につなぐ仕組みだよ!」
現場で活躍する卒業生の話を聞ける!

参加費
学生 (高校生、大学生、院生など) 無料
上記以外 1,000円

企画・運営: 埼玉県立大学保健医療福祉科学学会 (SPU学会)
HP: <https://www.spu.ac.jp/about/society/> ①「学会からのお知らせ」をご覧ください。

問合せ先: 埼玉県立大学保健医療福祉科学学会第17回学術集会事務局
〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮820番地 埼玉県立大学社会福祉子ども学科内
Eメール: conference@spu.ac.jp
共催: 埼玉県立大学保健医療福祉科学学会、埼玉県立大学

会長: 林恵洋子
副会長: 小澤昭彦、大塚育、越智幸一
実行委員長: 大岡華子

HPはこちら、お申し込みはこちら

埼玉県立大学保健医療福祉科学学会

第 17 回学術集会 プログラム

開催日時: 2026 年 11 月 14 日(土)10 時~16 時

開催場所: 埼玉県立大学

テーマ:「重層的支援体制整備事業の現状と課題」

【プログラム】

10:00~10:02	学術集会長挨拶
	社会福祉子ども学科福祉子ども学専攻 林 恵津子
10:02~10:07	理事長挨拶
	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会理事長 林 裕栄 学長
10:07~12:15	社会福祉子ども学科教員による教育講演
	- 重層的支援の社会的意義 保科寧子 - 重層的支援の歴史 大岡華子 - 重層的支援の実際 小川孔美 - 重層的支援の展望 高島恭子
12:15~13:30	昼休憩
13:30~14:30	ワークショップ I
	重層的支援体制整備事業の現状報告と課題 シンポジスト; 各領域で活躍する支援者と卒業生 - 行政における重層的支援体制整備事業 - 社会福祉協議会における重層的支援体制整備事業 - 児童領域における重層的支援体制整備事業
14:30~14:45	休憩
14:45~15:30	ワークショップ II
	「つながり」のための課題を共有・今後の展望 指定討論: 埼玉県福祉部地域包括ケア課 課長 山崎高延氏
15:30~15:35	次期学術集会長挨拶
	看護学科 國澤 尚子
15:35~15:40	閉会の挨拶
	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会副理事長 横山由美 研究科長
15:40	閉会

【参加登録のご案内】

参加費

学生(高校生、大学生、院生など)無料

上記以外 1,000 円

11 月 13 日(金) 13 時まで

参加登録フォームまたは右記 QR コードより登録をお願いいたします。

<https://forms.cloud.microsoft/r/8UQGwqJ5p7>

『保健医療福祉科学』投稿システム変更のお知らせ

学会誌編集委員会 委員長 常盤文枝

本学会学術誌では、より多くの皆様に円滑にご投稿いただけるよう、投稿システムを新たに整備し、10 月より運用を開始いたします。これに伴い、投稿規定および執筆要領についても一部改訂を行います。

新しいシステムでは、学内・学外を問わず、これまで以上に投稿しやすい環境を整えることを目指しました。

本誌が、研究成果や実践の知見を広く発信し、会員相互の学術的交流を深める場となるよう、編集委員会として今後も誌面の充実に努めてまいります。

ぜひこの機会に、多くの皆様からの積極的なご投稿をお待ちしております。また、掲載論文の質を高め、より充実した学術誌としていくためには、査読者の皆様のお力添えが欠かせません。査読についても、より多くの皆様にご協力賜りますよう、あわせてお願い申し上げます。

同窓会員の入会の勧め

同窓会会長 金子睦

この度、埼玉県立大学同窓会の会長を拝命いたしました社会福祉学科6期生の金子睦と申します。同窓会として卒業生と母校をつなぐ役割を担う一方、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会にて、学会の活動や魅力を広くお伝えする広報委員を担当しております。この2つの立場にあるからこそ、卒業生(同窓会員)の皆様に、本学会を卒業後の新たな学びと交流の場として、ぜひ活用していただきたいと考えています。

本学会は、大学教員や研究者だけのものではありません。医療機関、福祉施設、行政機関、教育機関など、様々な現場で活躍する卒業生が、日々の実践や課題を持ち寄り、分野や職種を越えて学び合うことのできる専門職連携の場です。また、新たな視点や研究成果に触れ、気づきを得られる機会でもあります。母校の先生方や同窓生と交流することは、専門職として成長を続けるうえでも、大きな力になると思います。

大学での学びやつながりは、卒業によって途切れるものではありません。本学会への入会を、母校との新たなつながりを築くきっかけとしていただければ幸いです。皆様の経験や知識が本学会に加わることを、心よりお待ちしております。



埼玉県立大学保健医療福祉学会 入会のご案内

日頃の成果発表の場として是非本学会をご活用下さい。

年会費:正会員 4,000 円 準会員 1,000 円
賛助会員 1 口 5000 円以上

入会方法:年会費をお振込みの上、下記 URL または
QR コードより入会申込フォームにご入力下さい。

【入会申込フォーム】

<https://qr.paps.jp/LGRsU>



【会費振込先】

郵便振替

※銀行振込をご希望の方は本学会 HP をご確認ください

加入者名:埼玉県立大学保健医療福祉科学学会

口座番号:00110-2-595897

【入会に関するお問い合わせ】

事務局 E-mail:gakkai@spu.ac.jp

会計係 E-mail:gakkai-kaikei@spu.ac.jp

『保健医療福祉科学 *Journal of Human Care Sciences*』 投稿論文募集

本学会では、「科学技術情報発信・流通総合システム」(J-STAGE)に機関誌を掲載しています。

○論文は年間を通して随時受け付けております。
ご投稿の際には、投稿規程および倫理指針を
ご熟読の上、ご投稿ください。

なお、投稿規程等は学会 HP で最新版をご確認
いただくようお願いいたします。

【学会 HP アクセスはこちらから】

<https://www.spu.ac.jp/about/society/>



【投稿に関するお問い合わせ】

編集事務局 E-mail:spu-jhcs@spu.ac.jp

お知らせ・会員連絡

○ニュースレターや学術集会の情報は、本学会 HP にも掲載しております。是非、ご高覧ください。

○学会からのお知らせは、HP やメールにて会員の皆様へご連絡をしております。メールアドレスの登録をされていない方は、学会事務局までご連絡ください。

○会員情報に変更がある方は、HP より「変更退会連絡用紙」にご記入の上、事務局までお知らせください。なお、退会される場合は、当該年度 3 月末までにご連絡ください。

【埼玉県立大学保健医療科学学会事務局】

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮 820 番地 埼玉県立大学内 E-mail:gakkai@spu.ac.jp

